

AINO & ALVAR AALTO

SHARED VISIONS

アイノとアルヴァ 二人のアアルト
建築・デザイン・生活革命

Innovations in Wood Bending Technology & Design of Furniture
木材曲げ加工の技術革新と
家具デザイン

2020.3.28 SAT - 6.7 SUN 竹中大工道具館1Fホール

9:30-16:30 入館は16:00まで 休館日:月曜日(祝日の場合は翌日)

入館料:一般500円、大高生300円、中学生以下無料、65歳以上の方200円 ※常設展観覧料を含む

Photo: アイノ&アルヴァ・アアルト/1940s
Aalto Family Collection

TAKENAKA
CARPENTRY
TOOLS
MUSEUM



公益財団法人 竹中大工道具館



AINO & ALVAR AALTO



SHARED VISIONS

アイノ・マルシオ（後のアイノ・アアルト 1894～1949）が、まだ無名の建築家アルヴァ・アアルト（1898～1976）の事務所を訪ねたのは1924年のことでした。この時から、アイノとアルヴァのパートナー関係が始まります。彼女が加わったことで、アルヴァの建築は使いやすく心地よいという、「暮らしを大切に作る視線」が加わり、空間に柔らかさや優しさが生まれたと言われています。このことは、彼が世界的建築家の道へと歩む上で極めて重要なことであつたといっても過言ではありません。モダニズムへと向かう流れのなかでアアルト建築が、ヒューマニズムと自然主義という文脈を有していたこと背景には、アイノの存在が大きかったのは確かでしょう。二人の作品は1920年代後半になると国際的に起こったモダニズムデザインの潮流の影響を受けます。モダニズムのシンプルで実用的、コストの合理性を考えた量産化という考え方は、二人の考えとも合致しました。彼らは、フィンランドの環境特性に基づき、自然のモチーフを取り入れたデザインでモダニズムに対する独自の回答を探究していくことになります。そして、「パイミオサナトリウム」（1933）、「ヴィープリの図書館」（1935）などコンペで実現した作品は、二人を一躍世界の建築家の舞台へと押し上げ、これらの建築のためにデザインされた家具は、後のアルテック設立の道筋をつけることとなります。二人の役割については、建築をアルヴァ、インテリアや家具を主にアイノが担当したと言われていますが、重要なことは、役割を切り分けるのではなく、生活革命ともいえるビジョンを共有したという事実です。二人は互いの才能を認めあい、影響しあい、補完しあいながら対等のパートナーとして作品をつくり続けたのだといえましょう。

本会場では、中でもアアルトの曲げ木の技術に焦点を当てて紹介します。世界中で愛されるアアルトの椅子。無垢材をL字型に曲げる「L-レッグ」と、積層合板による「ラメラ曲げ木」の開発について、成形から商品化までの道のりを辿ります。このアアルト家具の販売と輸出管理だけでなく、展示会や啓蒙活動によってモダニズム文化を促進することを目的として設立されたアルテックの歩みを紹介します。

In 1924, Aino Marsio (later Aino Aalto 1894～1949) visited the office of Alvar Aalto (1898～1976), then an unknown architect, when partnership between Aino and Alvar started. Her participation added the perspective of daily living to Alvar's works, making them easy and comfortable to use. The spaces he created started to have soft and gentle atmosphere, helping him walk his way to the world renowned architect. It is certain that Aino influenced him to move toward humanism and naturalism. They started from a small architect office and received a big influence from the international trend of modernism in late 1920's. The modern pursuit for simple but practical products of low cost mass production fit for their ideas. Aalto's started to pursue unique solution to the modernistic idea with the design taking the Finnish environmental characteristics into consideration and incorporating natural motifs. Their winning in the competitions made them design Paimio Sanatorium (1933) and Viipuri Library (1935), paving their way to the world class architect. The furniture they placed in these buildings laid foundation for Artek. It is sometimes believed that they had their roles to play, Alvar as an architect and Aino, also an architect and as main designer for interior and furniture. But their roles are inseparable. They acknowledged each other's talent, mutually influencing and complementing. They were the real business and life partners. This exhibition features the quarter of a century between 1924 when Alvar and Aino started their journey toward globally renowned architects to 1949 when Aino passed away. Our special focus this time is on their philosophy of interior design with emphasis on hygiene, functions and efficiency, in which Aino was deeply involved. At this venue, particular focus is placed on Aalto woodworking techniques. Aalto chairs are loved around the world, and this exhibition presents the development, from molding to commercialization, of the "L-leg", in which natural wood is bent into an L-shape, and "lamella bentwood" made from laminated plywood. In addition, visitors are introduced to the story of Artek, a company that was founded not only to sell and export Aalto furniture but also for the purpose of promoting modernist culture through exhibitions and educational programs.

ギャラリートーク

日時：2020.3.28(土) 11:00～、14:00～
講師：ヘイッキ・アアルト-アラネン（アルヴァ&アイノ・アアルトエステート代表）
会場：竹中大工道具館 1Fホール 定員：当日先着順 参加費：無料（別途入館料が必要）

ワークショップ

積層曲げ木を学ぶ(全2回) ※アルテック積層合板の技術や製法とは異なります。

日時：① 2020.4.16(木)・25(土) 10:00～15:00
② 2020.4.17(金)・25(土) 10:00～15:00
講師：永野智士(株式会社永野製作所) 会場：竹中大工道具館 地下2F木工室
参加費：18,000円(全2回、材料費・入館料込み)
定員：各回とも大人10名 ※必ず全2回参加できる方(事前申込制) 申込締切：3.25(水) 必着

セミナー

[99] アアルト家具のデザインとアルテック

日時：2020.5.16(土) 13:30～15:00 (13:00開場)
講師：ティモ・リエッコ(アルヴァ・アアルト財団 / アルヴァ・アアルト美術館学芸員)
会場：神戸芸術センター 会議室(神戸市中央区熊内橋通7-1-13)
参加費：無料(竹中大工道具館入館の場合、別途入館料が必要)
定員：80名(事前申込制) 申込締切：4.24(金) 必着

関連イベント申し込み方法

ウェブサイトまたは往復はがきにご記入の上お申し込みください。

【ウェブサイト】公式サイト内よりお申し込みください。
www.dougukan.jp/special_exhibition/aalto

【はがき】往信用裏面 ①イベント名(ご希望日時も) ②参加者氏名(フリガナ)
③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤年齢 ⑥利き手(WSのみ)

返信用表面 宛先に申込者の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。
裏面は未記入のこと。

申し込み先 〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1
竹中大工道具館 イベント係

※ハガキ1通につき1名様までお申し込みいただけます。
※参加可否の詳細は締切日以降10日程度でご連絡いたします。
※ご記入いただいた情報は厳重に管理し、イベント以外の目的には使用いたしません。



1. 41 アームチェア パイミオ / 1932 アルヴァ・アアルト Photo: Maija Holma/Alvar Aalto Foundation
2. 41 アームチェア パイミオと31 アームチェアのスケッチ Alvar Aalto Foundation

【お問い合わせ】

公益財団法人 **竹中大工道具館**
〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1
TEL:078-242-0216 FAX:078-241-4713
<http://dougukan.jp>

山陽新幹線「新神戸駅」中央改札口より徒歩約3分
市営地下鉄「新神戸駅」北出口2より徒歩約3分
シティーループ「12新神戸駅前(2F)」下車徒歩約3分
神戸市バス2系統・18系統「熊内6丁目」下車徒歩約2分



本展は、世田谷美術館・兵庫県立美術館にて2021年に開催予定の「アイノとアルヴァ 二人のアアルト」展プレ企画です。

主催：ギャラリー エークウッド 共催：竹中大工道具館 特別協力：アアルト・ファミリー コレクション、
アルヴァ・アアルト財団 協力：アルテック、フィンエアー、フィンエアー・カーゴ、**iittala**
後援：フィンランド大使館、 企画：ギャラリー エークウッド 企画協力：S2株式会社
フィンランドセンター